

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



ピアノを練習している子どもたち(カンボジア孤児院)

皆さまの御支援、御協力、いつもありがとうございます。

先日、東京のNPO法人青少年ワールドサポート21様より、礎の石孤児院の東京事務局スタッフと理事数名がチャリティーパーティーに招待され、私共の活動を紹介する時があたえられました。毎年の招待に与らせていただき、私共孤児院に非常に興味を持ってくださることと、本当に感謝に絶えません。青少年ワールドサポート21様の御活躍と発展、そして多くの方々に、私共の活動が紹介されていくことを本当に願っております。

また、全国のいたるところで、私共の活動の為に、チャリティーコンサートを開催して下さってられる有志の方々も大勢おられ、本当にありがたいことです。この誌面をお借りして、御礼申し上げる次第であります。

さて、海外の各孤児院においては、HPの緊急支援のお願いにも掲載しておりますが、自動車や学費など多くの必要に迫られております。特に自動車に関しては、生活や活動には不可欠ですが、移動の距離の多さだけでなく、道路事情の悪さから、日本では考えられないような傷み方、故障をしてしまいます。また自動車だけでなく、運営費の必要も増えています。子供たちの生活は皆様の御支援によって支えられております。今後とも、是非皆さまの御支援、御協力、よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チヨムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。2歳児の女の子を受け入れて2ヶ月ほど経ちました。施設によっては、政府機関からの要請により保護する子ども達を短期間受け入れ、ある期間が終了すれば、再び家に戻しているところもあるとのこと。しかし、中には、受託期間が終了しても両親又は、片親の養育拒否により、子ども達の戻り先がなくなってしまい、長期的な保護の出来るところへ移動しなければならなくなるケースもあるようです。2歳の女の子ですが、以前に保護を受けていた団体の方からは、出生証明書もなく名前も仮名でしたので、名前を決めて、これからの生活に必要な手続きを始めています。来た当初は、表情が乏しい感じでしたが、今では孤児院にいる子ども達に交互に抱っこされて可愛がられ、笑ったり泣いたり、お話もするようになっております。食事はまだ1人では食べたことがないということでしたので、スプーンを持たせて食事の練習を始め、今ではスムーズに出来るようになりました。さらに、彼女の心身共なる健やかな成長を願っています。



全員ではありませんが、子ども達の近況写真です。(2018. 11. 1現在)

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの子どもたちに対する、皆様の温かいご支援を心から感謝致します。早いもので今年も残すところ2ヶ月となりました。フィリピンの学校では11月は大きな行事はありませんが、10月、11月は子ども月間で、その一環としてボーイスカウト、ガールスカウトの大会が行われます。学校によって日程は違いますが、教育省のカリキュラムの一部として行われます。今年は11月26日～28日に行われる2泊3日のキャンプを子どもたちはとても楽しみにしています。子どもたちは各々、寝具、食糧、非常用救急箱を持参します。子どもたちはまた、12月30日に行われる就学支援生が一同に集まる、全員集合パーティーを心待ちにしています。年に一度、就学支援生が集まり、交流を持つ時だからです。最後にもう一度皆様へお願いがございます。6月からスタートしている今年度の、学校へ支払う学費その他の必要が、まだ3,470ドル(約40万円)不足しています。子どもたちが学校へ通い続けることが出来るように、どうか皆様のご協力とご支援をよろしくお願い致します。



10月に行われたユナイテッドネーションの行事の様子

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃のご支援に、心から感謝申し上げます。ザンビアは気温が上がり続け、ようやく寒い時期を脱出しました。これからもっと雨が必要になって来ます。高校卒業を迎える4人は、全国の高校三年生が受ける最終試験(1ヶ月かかります)に臨んでいるところです。この最終試験、問題が事前にリークし、しかもソーシャルメディアにも載ったという事で、作り直しが決定し、一週間遅れました。その事が、子どもたちにとって良い方向に働けばなあと思っています。さて、卒業後の進路に関して、今までもお伝えしていましたが、特にデヴィットとスティーブンは来日し、農業等の技能を学ぶ事を希望していますので、受け入れてくださる方を求めています。どうぞ関心のある方は東京事務局にご連絡を頂きたいと思います。宜しくお願い致します。

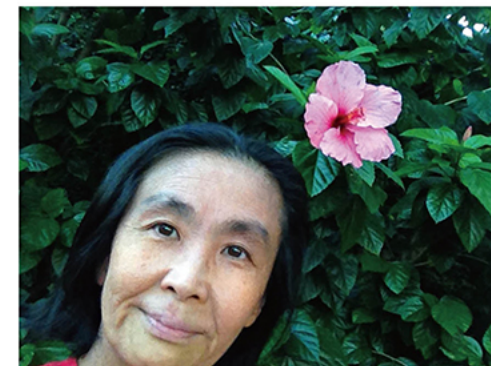


サッカーに行って来ます!

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。こちらではようやく雨期らしく本格的な雨がやってきました。日本の梅雨のように一日中雨が降る日もありました。あちこちで花が咲き始め春だなあと思うこの頃です。さて以前の住まいの近所の方で、一時帰国の時にバスターミナルまで送ってくださったご夫妻のお宅をやっと訪問することができました。ご夫婦とも私と同じ猫好きで会話が生まれ、一時帰国の前には、同じく猫好きの私の母にとプレゼントまでいただきました。あなたの中には何か光があると言ってくださいました。当時諸問題の解決に走り回り輝くどころでなかったのですが、その言葉はとても励みになりました。何度かお宅の前を通ったのですがお留守で、日本のお土産をお渡しすることができました。お近づきになってポルトガル語でもっと会話などできたらと願っています。皆様のご支援をこれからもどうぞよろしくお願い致します。



花の季節がやって来ました